



このダイコンで筋トレできるわー！冬野菜の季節到来

お天気の良い日は温かさを感じる日々ですが、冬はやっぱり近づいているらしく、園庭の木々も葉っぱをすっかり落として様変わり。「秋は終わりましたよー」と、まるで子供たちに声をかけているかのようです。

子供たち一人一人との挨拶を楽しみに、登園の出迎えをしている時のこと。温かい陽の光にふと見上げてみると、葉が落ちた木の枝先にはすでに固い冬芽がついていて、次の準備をしていることに気づきました。

冬支度をする固い芽を見上げながら「生きている」ってすごいな〜と、そっと感動したのでした。

風の子便り



KAZENOKO DAYORI

滋賀大学教育学部附属幼稚園



わくわく造形展 雑感

自分の作品を見てくれるおうちの方の笑顔がうれしくて、いっぱいお話を聞いてもらえるのがうれしくて、「次は何を話そうかなー」なんて考えているだろう年少 A さん。

自分の絵の説明はそこそこに、年長児の作品の説明を始める年中 B さん。すでに来年への期待が膨らんでいる様子。

自分のことだけでなく友達のことを紹介する年長 C さんの様子からは、想像力や創造性をたくましく広げ、協働して取り組んできた自負を伺い知ることができます。

大人の方にもおそらく刺激的で、やることリストには入ってなかったであろう造形・表現（遊び）へのスイッチが入ったのではないのでしょうか。やるならばけっこう本気。で、実は楽しくて好き。

自分の思いを表し、自分らしさを現す。そしてそれはとても嬉しく、とても楽しい。だから好き。

ああ！なんてステキな遊びなんだろう！！

造形展って、やっぱりいいな！！

10歳で言葉よりうまく描けた。
子どものように描けるようになるまで
ずいぶんかかった... 1970.10.10



よいお年玉をおみかえつていい。



～暮らしに出会う～

イルミネーションが街を灯し、華やかな街並みに子供も大人もウキウキそわそわ。年の瀬です。

**「日常生活の中で様々な文化や伝統に親しむ」
「季節により自然や人間の生活の生活に変化のあることに気づく」** そんな時期です。

年末には大掃除をし、注連縄や正月飾り、鏡餅を飾って年神さまを迎える準備をします。そして初もうでに出かけ一年の無事と平安を願います。いつもとは少し違うかしこまった雰囲気を感じながら過ごすことだと思います。

プレゼントやお年玉をいただいたらしっかりお礼の気持ちを伝えることや、年末年始ならではの挨拶にも触れてほしいと思います。小学生にもなると「^{うやうやしく}今年の抱負」を述べてから恭しくお年玉をいただくなんてこともあるかもしれません。

（はい、私の家系はそういう決まりになっています(へへ;)）

では、少し早めですが、「**年内は大変お世話になりました。みなさま、よいお年をお迎えください**」



～副園長のおしゃべり～

じつは、この年になって絵本を読み聞かせる技術を極めたいと考えている…。多少騒々しい中で読み始めても、子供たちがいつの間にかお話の世界に入り込んでしまうというくらいに。声の速さ、大きさ、高低、ページをめくる「間」、自分の持っている技術を総動員させて読み聞かせる。時にうまくいくこともあるけれど、修行の道は険しく長い……。だのに、なぜ、そんなことをしているのかというと、**絵本やお話の読み聞かせは、感性、想像力、思考力を豊かに育むと考えているから**です。

子供たちの周りには良くも悪くも様々な情報があふれています。見聞きするだけでなく、情報に対して、よりよい未来を思いめぐらせて行動するためには、感性、想像力、思考力が支えになると考えます。**そのために絵本を好きになってほしい**。そう！私の修業は未来を救うためなのです！そういうことです。

季節のアルバム



年長さんに造形展を案内してもらった年少さん「のってもいいよ」と、カッコいい車に乗せてもらってとっても嬉しいドライブは、順番まちの行列。

「唐橋焼」制作に挑む年長児。筆立てをつくるらしい。作ったモチーフを「どべ」でくっつけていきます。出来上がりは琵琶湖ブルーですって。

副園長先生が大繩の回しすぎで頭から煙を出して故障したらしい！仕方ない、自分たちでやってみよう！と、4歳児らしからぬ意欲と技。



ホウレンソウを収穫する年中さん。大きいのを3つ選んで引き抜きます。スーパーではあまり売っていない日本種。おいしく食べたかな？

「ねえねえ、ほら、おひげがでてきているね」年少さんはクロッカスの水栽培をしています。根っこが伸びてくることに不思議と驚きが混ざります。

園庭に黄色いじゅうたん！！イチョウの木の下で大はしゃぎの子供たち。晩秋の自然を存分に楽しみながら季節の移ろいを感じています。

もうすぐ年末、そしてお正月。実家ではもうやめてくれーと毎年言っているのにずっと続いている餅つき。もうね…「祭り」。来ている人の名前がわからない…。そしてお正月、姪「今日のお雑煮、だれが作ったん？」義妹「兄ちゃん（私のこと）やで」姪「えー！やったー！明君のお雑煮やったら食べるー」香川出身の義妹のリクエスト雑煮は「あん餅」入り！…意外といけます。お題 今年(来年)の一字！

お名前

